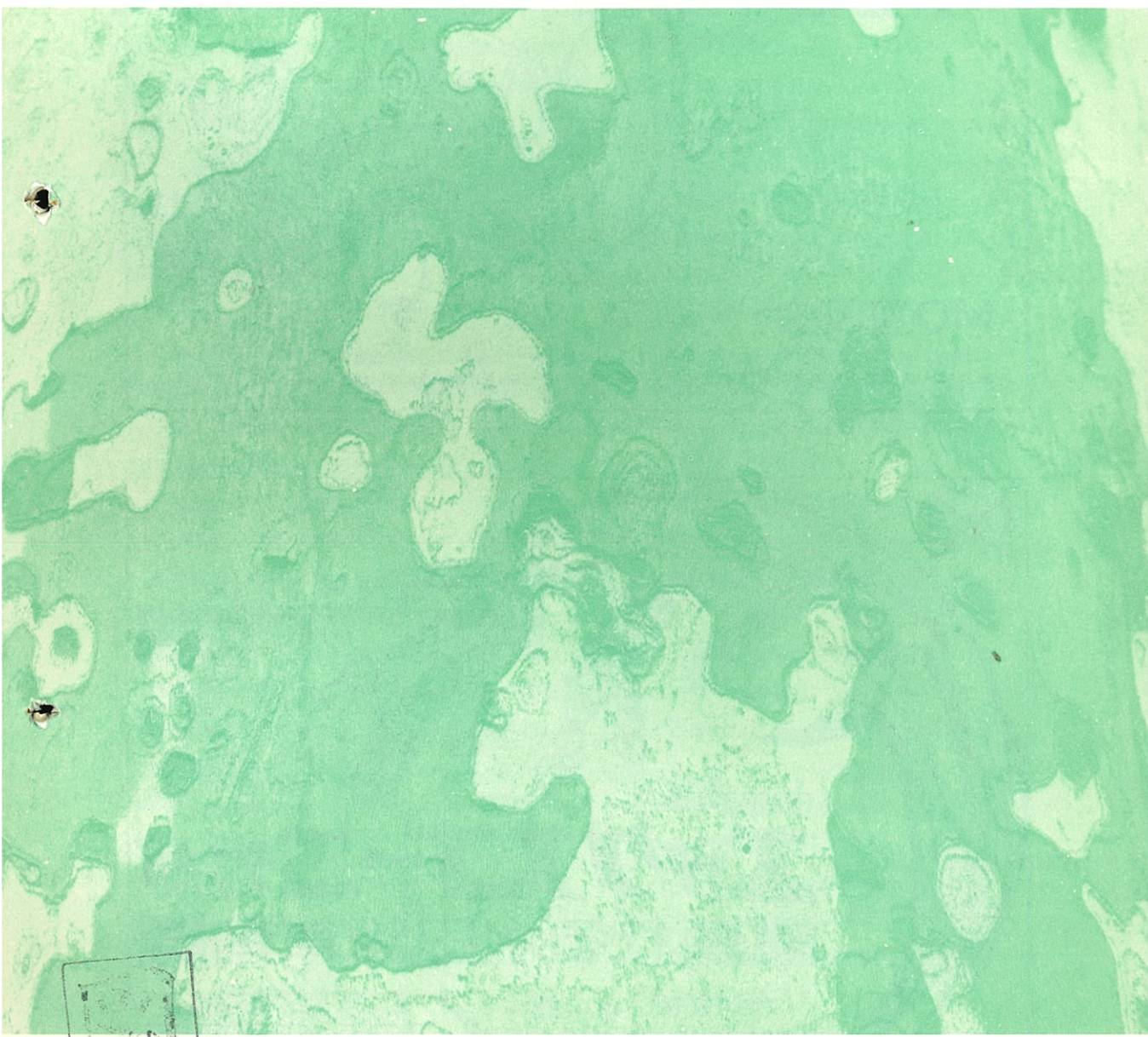


調 植

第 9 卷 第 2 号



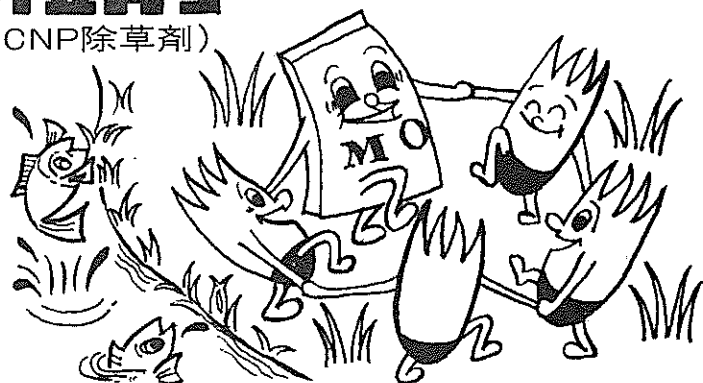
財団法人 日本植物調節剤研究協会編

安全でよく効く!

——水田除草剤——

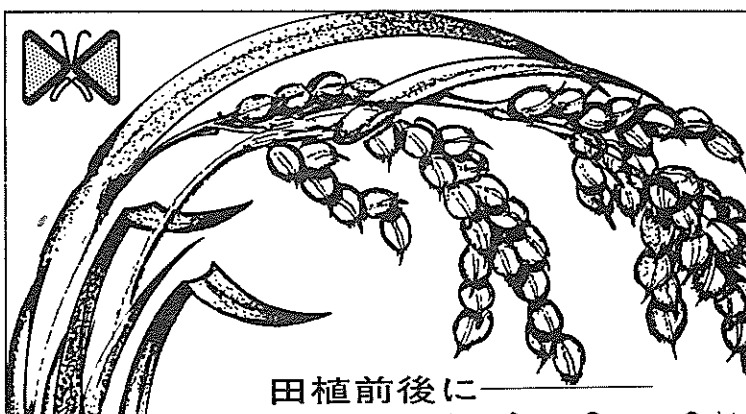
MO粒剤

(CNP除草剤)



MO普及会

取扱会社 クミアイ化学、三共、北興化学、八洲化学、日本農薬、サンケイ化学、三井東圧農薬
事務局 東京都千代田区霞が関3-2-5 (霞が関ビル) 三井東圧化学株式会社内



稚苗移植栽培が急速に増加するにつれ、抑草期間が長く、しかも安全な除草剤への要求は、ますます強くなっています。エックスゴーニ粒剤は、これらの要求にピッタリの除草剤です。

田植前後に——

エックスゴーニ粒剤

■頼れる水田除草剤■

代かき後7日以内
にお使いください。

エックスゴーニ協議会



日本農薬株式会社
〒103 東京都中央区日本橋1-2-5



石原産業株式会社
〒550 大阪市西区江戸堀上通1-11-11

資料請求
植 測
エックスゴーニ

芝生の雑草

広くもないわが家の庭は芝生にしてある。裸地だと風が少し強いと砂ぼこりして家の中がザラつき気持が悪いからである。芝生は最初の投資の少いに反し維持費が大変だと承知していたが、雑草退治は聞きしに勝るものである。草取りは家族労働で行うので現金支出はないが、休日特に5月の連休はこれに当てることが多い。

芝を張った翌年からの2年間はハマスゲにかかりきりだった。その甲斐あってハマスゲが姿を消すとカタバミとチドメグサが目立って増えた。カタバミは根が驚くほど太く長いので深く掘返す。チドメグサは茎が軟かく切れ易いので周囲を広く掘取る。そのために芝生には禿が数多くできてみっともない姿になってしまう。それでも悪草を根絶した征服感で安心するのはつかの間にすぎない。驚くべきことに根こそぎ除草した筈の芝生の禿の部分に、どこから来るのか悪草が却って多く発生する。

考えてみるとギッシリ生えた芝生は雑草防除の役を果たしているらしい。雑草が芝生に蔓るのは芝の生育がわるいため、芝の生えのよくない所が雑草繁殖の場に狙われるのである。これは牧草地の雑草にも当てはまると思う。欧州で雑草が少いのは気候のせいもあるが、ひとつには都会では芝生の手入れがよく、田園では草地管理が行届いて、云わば国をあげて雑草防除に努めているためと思える。

(日本植物調節剤研究協会会長 戸畑義次)

目次

(第9巻第2号)

林地における雑草防除	2
<林業試験場 眞部辰夫>	
まえがき	2
1. 除草剤の考え方	2
(1) 国有林と民有林の違い	2
(2) 技術的な困難性	3
(3) 雑草防除の考え方	4
2. 主要雑草の防除上の問題点	4
(1) ササ	4
(2) ススキ	5
(3) クズ	5
(4) かん木	6
おわりに	6

昭和49年度春夏作芝生関係除草剤

・生育調節剤試験成績概要	6
--------------------	---

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度桑園関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	13
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度茶園関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	16
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度林業関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	17
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

林地における雑草防除

農林省林業試験場造林部除草剤研究室長 真部辰夫

まえがき

全国の新植地は毎年約30万haで、少なくとも5～6年は草刈りの手入れが必要である。また、この新植地以外に何らかの方法で雑草防除を必要とする天然更新地が毎年約15万haある。これからみても、林地における雑草防除の必要性は明らかであるが、昭和46年以降除草剤による雑草防除は低調である。労働力の確保が困難で、また立地条件から刈払機の導入も制約をうける状態でありながら、農薬公害、自然保護、労組の反対(国有林)などで除草剤が使えずらくなれば、現場はとまどい気味になることは無理もないことである。見方を変えれば、低毒性の除草剤、新しい使用技術の開発を強く求められているといえる。

雑草防除の必要性、防除法の概要は、すでに植調(Vol. 6 No. 9, Vol. 4 No. 9)などで述べているので、ここでは今後の薬剤防除の考え方と主要な雑草について防除技術上の問題点に若干ふれてみたいと思う。

1. 薬剤防除の考え方

林業苗畑では除草剤の普及がきわめて高いが、林地は昭和46年以降激減している(表-1)。労務事情の悪化とともに使用量が増加し、新しい除草剤の開発もあって、現場ではかなり期待されたものであるが、昭和44年以降の農薬公害、自然保護キャンペーンとそれともなう国

表-1 出荷数量の推移

単位(t)

除 草 剤	1965	'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72
2,4 PA・ 2,4,5-T (G)			0	155	1088	2189	196	0
塩素酸塩(G)	1793	3161	4963	5213	6848	6562	4848	1490
塩素酸塩(D)	1173	1545	1889	4927	2796	2294	1613	777

注)「植調・除草剤二十五年のあゆみ」による

(G)粒剤 (D)粉剤を示す。

有林での使用規制が大きく影響したものである。一方、技術的な未熟さも否定できない。これらを経営および技術的な面と雑草防除に対する考え方から検討してみたい。

(1) 国有林と民有林の違い

国有林では労務事情がひっばくしてきた昭和30年代後半に、塩素酸ソーダ(粒剤)によるササ地の処理を事業化した。伐採前のササ処理と経済性よりも省力に重点をおいたことが特徴づけられる。ササ地の刈払いには多数の人手が必要であるため、1年限りの経費で経済性が若干劣っても、伐採作業、植付作業が容易になれば収支つぐなうという考え方である。これに対し、民有林はササ地が少なく、草本、かん木の混生地が多いことと、より経済性を重視するため、茎葉処理用に塩素酸ソーダの粉剤が多く使用されている。

昭和43年に2,4-Dと2,4,5-Tの混合剤(微粒剤)が使用されるようになり、広葉雑草、落葉かん木に効果のあることから、国有林、民

有林とも使用された。

しかし、農薬公害が批判されるようになり、とくに2,4,5-Tの毒性が問題となり、安全性が確認できないということで使用が中止され、さらに塩素酸ソーダの使用反対運動まで起って、雑草防除のあり方を根本的に考え直さねばならなくなった。その対策として、①低毒性除草剤への切り替え、抑草的な考え方の導入、使用されている除草剤は毒性、魚毒性など各種の試験が実行されたため、農薬公害ショックも徐々に解消されつつあるが、両者の考え方には大きい差があらわれている。

国有林は労組の考え方が強く影響するが、民有林は低毒性で、適正な使用技術が確立されれば、効果のあるものは使ってゆく姿勢が強くなっている。経営規模、立地条件、除草剤に対する考え方の異なる国有林と民有林では、今後さらに技術普及に差があらわれる可能性がある。民有林は農業との兼業林家が多く、薬剤散布の経験も豊かと思われるので、今後は民有林を中心に技術が普及してゆくだろう。

(2) 技術的な困難性

林地の除草剤による雑草防除は、宿命的に次のような困難性をもっている。①林地には抵抗性のある多年生雑草、かん木類が多く混生している。②地形がけわしく、一般に液剤が使用できない。③造林木に対し選択性のある除草剤が少ない。④植生変化を考えて使用せねばならない。⑤自然保護、環境保全を配慮する必要がある。

これらを克服するには多くの優秀な除草剤、現地に適した使用技術の確立、技術を確実に実行する能力が必要であるが、現状は甚だ不十分な状態である。

抵抗性の草種が多いところでは、抑草的な考

え方で技術開発を推進すべきであろう。また、従来きわめて稀にしか液剤は使用されていないし、筆者も林地での液剤使用の将来性に疑問をもっていた一人であるが、除草剤本来の特徴を生かす意味で、今後検討すべき課題と考えるようになっていく。例えば欧州でしゃへい板で紫

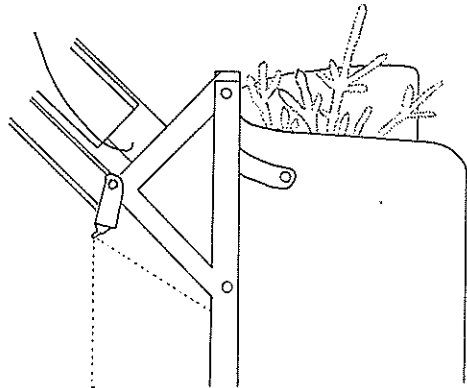


図-1 ICI AGRICULTURAL DIVISION
Plant Protection Guide to Weed
Control in Forestry による。

害を防ぎ、ハンドル操作で液剤を造林木の周囲にスポット処理する器具(図-1)が考案されている。平坦地が多く、草種の少ない欧州とわが国を同一視できないが、造林木の頭上から散布して、安全で除草効果の高い薬剤を常に求める考え方は改めねばならないと思う。アシュラム、glyphosate、DPX(Krenite)など、多年生雑草用に新しい除草剤が出現している現状から、粉剤化、粒剤化の検討も必要であろうが、わが国の林業事情にマッチした液剤散布用器具の考案はできないものだろうか。ほかに散布器具の例として巻がらし用にオノと液剤処理のパイプを組み合わせたもの(アメリカ)、わが国では営林局で考案された刈払機に薬剤をセットする方法、手袋で雑草をつかむと除草剤が処理できるグラブがイギリス⁽¹⁾で考案されてい

(1) 農業および園芸 Vol. 49 No. 9 P. 70

る。

次に植生変化であるが、除草剤を使用すると急速に林床植生が変化する。そのパターンは主要次のようになる。

- ① ササ→キク科草本→イチゴ類・かん木類
- ② ススキ→広葉雑草・かん木類
- ③ クズ→草本類・かん木類
- ④ 広葉雑草・かん木類→ススキ
- ⑤ ウラジロ・コシダ→草本類・かん木類
- ⑥ 自然放置の状態ではかん木類が急増する。

このなかで、防除のむずかしいかん木類の増加は望ましくなく、散布当年はよくても、翌年に降かえて防除が次第に困難になることも起こりうる。筆者の経験ではススキの防除後イチゴ類が増加し、処理が厄介(トゲがあるため)になった例がある。林地の雑草防除は地ごしらえから下刈期間の、少なくとも6~7年間通じて雑草防除を考えねばならないため、除草剤のみに頼ることは困難で、また生態防除も信頼できるものがない現状では、除草剤と手刈りの組み合わせ処理が最善であろう。

(3) 雑草防除の考え方

(2)でのべたような条件のなかで除草剤を使用してゆくには、完全な殺草よりも造林木の生長に支障がない程度に抑草することが望ましい。水田除草の成果が強く影響したものか、われわれの潔癖さに由来するものか、とにかく完全除草を期待してきたため、殺草性のより高いものを望んだきらいがある。必然的に除草剤の選択の幅を狭くし、結果的には薬害を起こすトラブルもあり、除草剤の普及上マイナスになった面が大きい。

林地の雑草は造林木と競争状態にあるときは除かねばならないが、それ以外は林地の保全上からなくてはならないものである。ある時期は

雑草でも、果樹の草生栽培と同じ役目をもっているわけである。最近では抑草的な考え方が浸透しつつあり、今後、除草剤の利用に変化がみられるのではなかろうか。

テトラビオン(TFP)は抑草手段に使用できる除草剤であるが、遅効性であること、効果がパットしないことから、長年その特長が認められなかった。しかし、最近はその特長が認識されるようになってきていることは、考え方の変化とうけとめている。

除草剤の使用にあたっては、毒性、自然保護の立場を十分に配慮する必要があるが、経済性も常にきびしく追求されねばならない。その対策として、使用量を低くおさえ、効果を高める工夫が必要で、具体的には、除草剤の特徴と雑草生態をどう調和させるにつきののではなかろうか。

2. 主要雑草の防除上の問題点

(1) ササ

ササに使用できる除草剤は塩素酸ソーダ、テトラビオン、肥料入りテトラビオンである。問題点としては塩素酸ソーダは一部の使用反対の動き、テトラビオンは特性の理解がまだ不十分なことである。塩素酸ソーダはササを殺草する、テトラビオンは抑草する除草剤ということができ、両者の特徴を生かしうまく使いわけすることが大切である。

塩素酸ソーダは火気に対する注意が必要であるが、低毒性、ササに対し卓効性をもつことから今後とも有効に使用してゆきたい除草剤である。一部使用に反対する意見もあるが、大面積のササ枯殺は問題であるとしても、小面積の造林地ならば、毒性、魚毒性、土壌残留などの研究成果を勘案して容認できるものではなかろう

か。畜産振興のため、ササ地を草地に造成するために利用されていることは、林地における研究と経験が生かされたものと考えている。

テトラビオンは遅効性であるため、少量散布で数年間ササを抑制するといっても、現場ではなかなか理解されにくいし、ササの種類によって反応が異なることも理解を一応困難にしているかも知れない。表-2はササの種類別の反応、表-3は散布後のスズタケの反応と再生、図-2はアズマネザサの再生した稈の大きさの違いを示したものである。

刈払い後散布すると再生を長期間抑制し、草

表-2 テトラビオンのササに対する反応

ササの種類	散布量	反 応
チシマザサ クマイザサ スズタケ	3~5 Kg/ha	散布後2~3年タケノコの発生、伸長を抑制するが、既に展開した葉は徐々に枯れ数年間残る。
ミヤコザサ	3~5 Kg/ha	散布後1~2年で稈は枯死する。タケノコの発生も強く抑制される。
アズマネザサ ネザサ	3Kg/ha	散布後1年以内に落葉現象がみられるが、稈は枯死しにくい。タケノコの発生は強く抑制される。

表-3 スズタケに対する効果

(真部・石井)

器官別対照区			散 布 量		
			1.5Kg/ha	3.0Kg/ha	5.0Kg/ha
旧 稈	非同化部	558.2	425.1	339.1	365.5
	同化部	154.9	84.3	83.9	39.1
新 稈	非同化部	414.8 (未刈払区)	270.4	80.8	74.3
	同化部	27.6	19.1	9.8	4.4

注) 散布46年11月 調査49年10月

10本当/生重で示す

丈の低い場合はそのまま抑制し、マルチの役目に近い状態を保つことができる。非常に特徴ある除草剤なので、今後の有効な利用が期待され

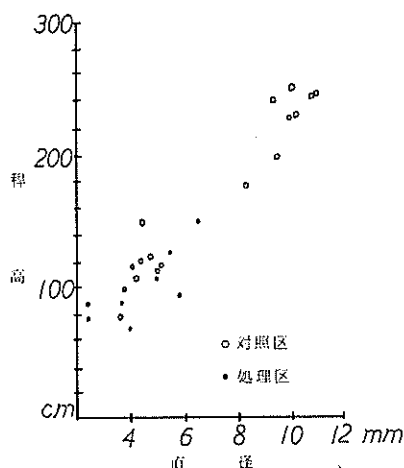


図-2 アズマネザサの再生

注) 散布: 46年3月
調査: 49年7月
散布量: 3Kg/ha

よう。

(2) ス ス キ

テトラビオン、DPAの出芽前処理によって、完全に防除できるようになっているため、技術的な問題はない。現在テトラビオン、DPAとも単剤で使用されているが、混合処理した場合の共力効果はどうか、興味ある課題である。

(3) ク ズ

株処理にピクロラム(木針法)、MCP乳剤、茎葉処理にテトラビオン・DPA混合剤、MCP・DPA混合剤が使用できる。2,4,5-Tの使用中止以降、適当な除草剤がなく対策に困っていたが、上記の除草剤によって容易に防除できるようになった。一部にみられたクズの繁茂のため造林地を駄目にしたり、造林をあきらめる悩みも解消できていると思っている。

なかでも新しい除草剤であるテトラビオン・DPA混合剤は、特異な作用性が注目されているが、その特徴を生かして上手に使用すれば、

画期的なクズ防除剤になると予測している。散布当年は草生栽培に似た状態で抑制し、翌年顕著な効果を示すことは、植生変化からいっても望ましいことで、林業に適した防除法である。今後適正な使用を希望するとともに、株処理、茎葉処理を組み合わせた作用によってさらに効果を高めてほしいと思う。

(4) か ん 木

スルファミン酸アンモン(AMS)、MCP・DPA、AMS・DPA、塩素酸ソーダが使用されているが、AMSは造林木に対する薬害の恐れから下刈地での使用に難点があり、その他の除草剤は落葉かん木には若干の効果があるが充分でなく、暖地に多い常緑かん木には効かない。

2,4,5-Tの使用中止が防除対策上かなり影響しているわけで、どう処理してゆくか、林地の雑草防除上最も大きい課題になっている。一時は全部枯らすことを望んだが、現在は落葉ないし抑制で充分であるという考え方に変わってきており、その意味では除草剤の開発も容易に

なってきたといえる。ササ、ススキ、クズの防除法が一応解決した現在、かん木処理の技術が完成すれば、雑草防除の作業体系が大幅に進展することは疑いなく、林業に貢献するところが大きいと考えている。

優秀な除草剤の出現は他日を待つとしても、現在のとり組み方として、さきへのべたように液剤の使用を検討してみることであろう。

お わ り に

わが国の森林面積は、国土の68%である。経済上の価値、国土保全にはたす役割は大きい。これからも大いに木を植えて育てゆかねばならないが、雑草防除の仕事もより深く認識されるだろう。雑草防除はすべて除草剤を優先とする考え方には賛成できないが、「適剤適所」をえて、経済性、省力の向上に役立つよう、適正で有効な薬剤防除技術が進展し、定着するよう願っている。

昭和49年度春夏作芝生関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和49年度芝生関係委託試験成績検討会は、昭和49年11月12日、東京(虎ノ門共済会館)にて、試験場所関係者等18名、委託関係者(会社)37名参集のもとに、除草剤24薬

剤、生育調節剤2(1)薬剤について、成績の報告後、活ばつな質疑、検討が行なわれた。その判定結果は次の通りである。

昭和49年度春夏作芝生関係除草剤・生育調節剤試験成績判定結果一覧表

A 除 草 剤

薬 剤 名 (種 類 名)	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
1) 2,4-D・ G-315 〔2,4PA・ オキサジアゾン プラスコンR〕	水和剤	2,4-D:ジクロルフェ ノキシ酢酸ナトリ ウム 50% G-315:5-ター シャリーブチル-3 -(2-4ジクロ ル-5-イソプロポキ シフェニル)-1,3, 4-オキサジアゾリ ン-2-オン 10%	日産化学工業	コウライシバ (一年生雑草 全般)	千葉農試, 東京 農試, 柏G.C., 総成C.C., 相模 原G.C. (5)	実	・一年生雑草に対し, 発生前全面土壌処 理。1.0g/m ² , 水量 250~300 ml/m ² (薬害の発現をあ きらかにすると と。)
2) A-820 ・2,4-D	水和剤	A-820:N-セカ ンダリーブチル-4 -ターシャリーブチ ル-2,6-ジニトロ アニリン 30% 2,4-D:2,4-ジク ロルフェノキシ酢酸 15%	2,4-D協議会	コウライシバ (一年生雑草 全般)	東京農試, 程カ 谷C.C., 大相模 C.C., 小金井C. C., 相模原G. C. (5)	実・ 継	実:一年生雑草に対 し, 発生前全面土 壌処理。1.0g/ m ² , 水量250~ 300ml/m ² 継:広葉雑草に対す る効果確認。
3) B-3357 (カーバメー ト系)	水和剤	新規化合物 50%	クミアイ 化学工業	ヒメコウライ シバ コウライシバ (イネ科中心 の一年生雑 草)	鳥取農試(西伯 分場), 山梨農 試, 植調研 (3)	継	・試験例数不足(広 葉雑草に対する効 果確認)。 ・成分未公開。
4) diphenamid 〔ジフェナミド ダイミッド〕	水和剤	N,N-ジメチル-2,2 -ジフェニルアセト アミド 80%	塩野義製薬	ヒメコウライ シバ ダイコンドラ コウライシバ (一年生イネ 科雑草)	山梨農試, 程カ 谷C.C., 錦カ原 C.C., 総成C. C., 中津川C. C. (5)	実・ 継	実:雑草発芽前全面 土壌処理。1.0g /m ² ただし, 対象 雑草はメヒシバに 限る。 継:①効果の再確認 試験を行うこと。 ②メヒシバ以外の 1年生イネ科雑草 に対する効果の検 討〔他に混剤化の 検討〕

薬 剤 名 (種 類 名) (商 品 名)	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
5) HOK-06 〔フェノチオール・ ペンタゾン〕	水和剤	フェノチオール：2- メチル-4-クロル フェノキシチオ酢酸 -S-エチル 10% ペンタゾン：3-イソ プロピル-2,1,3- ベンゾチアジノン- (4)-2,2-ジオキサ イド 20%	北興化学工業	ノシバ コウライシバ ドワーフティ フグリーン (広葉型雑草)	程カ谷C.C., 日本緑営芝生研, 西日本グリーン 研 (3)	実 ・ 継	実：一年生広葉雑草 に対し、生育盛期 茎葉処理。10~ 15g/m ² , 水量 150~200ml/m ² 継：草種拡大(多年 生)。薬害につい て検討。
6) HOK-108 〔フェノチオール・ ペンタゾン・ 〔S-28〕〕	水和剤	フェノチオール：2- メチル-4-クロル フェノキシチオ酢酸 -S-エチル 10% ペンタゾン：3-イソ プロピル-2,1,3- ベンゾチアジノン- (4)-2,2-ジオキサ イド 20% S-28：O-エチル -O-(3-メチル -6-ニトロフェニ ル)-N-sec.- ブチルフォスフォ チオアミデート 20%	住友化学工業 北興化学工業	コウライシバ ティフトン 419 (一般雑草)	東京農試、大相 模C.C., 新沼津 C.C. (3)	継	・試験結果不一致、 試験例数不足。
7) HW-G3 〔DCMU・CA 〔T・2,4PA〕〕	水和剤	DCMU：3(3,4- ジクロルフェニル) -1,1-ジメチル尿 素 5% CAT：2-クロル- 4,6-ビス(エチル アミノ)-S-トリ アジン 10% 2,4PA：2,4-ジク ロルフェノキシ酢酸 ナトリウム 40%	保土谷 化学工業	ノシバ コウライシバ (一年生・多 年生広葉型 雑草)	程カ谷C.C., 大 相模C.C., 柏 G.C. (3)	継	・試験例数不足、薬 害軽減(混合比) 検討。
8) NC-102 〔MCP P〕	液 剤	2-メチル-4-クロ ルフェノキシプロピ ン酸カリウム 50%	日本カーリット	ヒメコウライシバ コウライシバ ノシバ ドワーフティ グリーン	鳥取農試(西伯 分場), 島カ原 C.C., 柏G.C., 総成C.C.	実 ・ 継	実：市販のMCP P に準ずる。 (ただし薬量0.6 ~0.8ml/m ²)

薬 剤 名 (種 類 名) (商 品 名)	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
8) (つづき)				(広葉型雑草)	相模原G.C, 西日本グリーン 研 (6)		継: 薬害 (使用量, 処理時期との関係) につき検討。
9) NCS [NCS カーバム]	液 剤	N-メチルジチオカーバ ミン酸アンモニウム 50%	東京有機 化学工業 三 洋 貿 易	ヒメコウライシバ ベントグラス コウライシバ (雑草全般)	鳥取農試 (西伯 分場), 程カ谷 C.C, 柏G.C, 西日本グリーン 研 (4)	実 ・ 継	実: 30倍液, 6ℓ /m ² を使用。 継: 温度と処理日数 の関係検討。
10) nitrofen [NIP ニップ]	粒 剤	2,4-ジクロロフェニ ル-4'-ニトロフェ ニルエーテル 5%	東京有機 化学工業 三 洋 貿 易	コウライシバ ヒメコウライシバ (一年生雑草)	東京農試, 鳥取 農試 (西伯分場), 大相模C.C, 日 本緑管芝生研, 西日本グリーン 研 (5)	実 ・ 継	実: 一年生イネ科雑 草に対し, 発芽前 '土壌処理。8g/m ² 継: 薬量増加 (効果 増大) 検討, 剤型 を考慮。
11) NP-24 (ビラン系)	水和剤	3-[1-(N-エト キシアミノ) プロピ リデン]-6-エチ ル-3,4-ジハイド ロ-2H-ビラン- 2,4 ジオン 40%	日 本 曹 達	ノシバ コウライシバ ヒメコウライシバ (イネ科一年 生雑草)	程カ谷C.C, 大 相模C.C, 相模 原G.C. (3)	継	・ 結果不一致 (不安 定), 薬害検討。
12) NTN-80 [(有機リン系) トクノールM]	水和剤	O-メチル-O-(2 -ニトロ-P-トリ ル) N-イソプロピ ル-ホスホロアミド チオネート 60%	日本特殊 農薬製造	コウライシバ ベントグラス ティフトン419 (イネ科型, 広葉型一年 生雑草)	千葉農試, 程カ 谷C.C, 大相模 C.C, 新沼津C. C, 柏G.C, 西日本グリーン 研 (6)	実 ・ 継	実: 一年生イネ科雑 草に対し, 発芽前 全面土壌処理。 0.5~1.0g/m ² , 水量250~300 ml/m ² 継: キク科を除く広 葉雑草に対する効 果検討。
13) R-7465 [ナプロバミド デブリノール]	水和剤	2-(α-ナフトキン) -N,N-ジエチルプ ロピオンアミド 50%	R-7465 研 究会芝生部会	コウライシバ ノシバ (一年生雑草 全般)	千葉農試, 程カ 谷C.C, 大相模 C.C, 日本緑管 芝生研, 総成C. C. (5)	実 ・ 継	実: メヒシバに対し, 発生前土壌処理。 0.6g/m ² , 水量 300ml/m ² 継: 効果確認, 薬害 (とくに根に対し) 検討。
14) S-28 [(有機リン系) クレマート]	乳 剤	O-エチル-O-(3 メチル-6-ニトロ フェニル)-N-セ	住友化学工業	コウライシバ ヒメコウライ シバ	東京農試, 山梨 農試, 大相模C. C, 小金井C.C.	実 ・ 継	実: 一年生イネ科雑 草に対し, 発生前 全面土壌処理。

薬 劑 名 (種 類 名)	剤 型	有効成分および含有率	委託者名	対象芝	試験場所	判定	判定理由または内容
14) (つづき)		カンダリーブテルホ スホロチオアミデー ト 50%		(一年生雑草 全般)	相模原G. C. (5)		1.0~1.2 ml/m ² , 水量250~300 ml/m ² ※: 効果(とくに広 葉雑草に対して) 確認。
15) SAP 〔SAP ロンパー〕	粒 剤	N-(2-メルカプト エチル)ベンゼンス ルホンアミド-S- (0.0-ジイソプロ ピルホスホロジチオ ネート) 12.5%	東洋グリーン	コウライシバ ノシバ (一年生イネ 科雑草)	程カ谷C. C., 日 本緑営芝生研, 柏G. C. (3)	実	・一年生イネ科雑草 に対し, 発生前全 面土壌処理。 8~10 g/m ² 。 (ただし, 寒地型 芝生に対しては注 意を要す。)
16) simazine 〔CAT シマジン 500FW〕	フロア ブル	2-クロル-4,6-ビ ス-エチルアミノ- S-トリアジン 50W/V	日本 チバガイギー	ヒメコウライ シバ コウライシバ ティフトン 419 (一年生雑草 全般)	山梨農試, 程カ 谷C. C., 新沼津 C. C., 総成C. C. (4)	実	・一年生雑草全般に 対し, 発生前全面 土壌処理。 0.2~0.3 ml/m ² , 水量250~300 ml/m ² 。
17) simazine 〔CAT シマジン〕	粒 剤	2-クロル-4,6-ビ ス-エチルアミノ- S-トリアジン 1%	日本 チバガイギー	ヒメコウライ シバ コウライシバ ティフトン 419 (一年生雑草 全般)	山梨農試, 程カ 谷C. C., 新沼津 C. C., 総成C. C. (4)	実	・一年生雑草全般に 対し, 発生前全面 土壌処理。 20 g/m ² 。
18) SK-41 〔尿素系〕	水和剤	1-(α , α -ジメチル ベンジル)-3-メ チル-3-フェニル 尿素 50%	昭和電工	コウライシバ ティフトン 419 チュウシバ (一年生イネ 科雑草)	大相模C. C., 錦 カ原C. C., 浜松 シーサイドG. C., 西日本グリ ーン研 (4)	実	・主としてカヤツリ グサ科に対し, 発 生前土壌処理。 (ただし, 広葉雑 草に対しては効果 なし) 1.5~2.0 g/m ² , 水量300 ml/m ² 。
19) SY-72 〔レナシル・ MCP シバゲン〕	粒 剤	レナシル: 3-シクロ ヘキシル-5,6-エ リメチレンウラシル 1.0%	石原産業	コウライシバ (一年生イネ 科, 広葉型 雑草)	千葉農試, 程カ 谷C. C., 大相模 C. C., 関西グリ ーン研, 植調研 (5)	実・ 継	実: 一年生雑草全般 に対し, 発生前土 壌処理。1.5~2.0 g /m ² (ただし, 有 効成分名含有率公

薬 剤 名 { 種 類 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
19) (つづき)		MCP: 2-メチル- 4-クロルフェノキ ン酢酸 30%					開を要す。 継: イネ科雑草に対 する効果確認, な らびに土壌条件の 差異による効果と 薬害の検討。
20) TG-72 [2,4PA・MC PP・MDBA トリメックF]	液 剤	2,4PA: 2,4-ジク ロルフェノキシ酢酸 27.59% MCPP: α-(2- メチル-4-クロル フェノキシ)-プロ ピオン酸 13.86% MDBA: 2-メトキ シ-3,6-ジクロル 安息香酸 2.76%	東洋グリーン	コウライシバ ティフトン 419 ヒメコウライ シバ (広葉型雑草 全般)	東京農試, 程カ 谷C.C., 新沼津 C.C., 相模原G. C. (4)	実	・広葉雑草(多年生 を除く)に対し, 雑草生育期茎葉処 理。 0.4~0.8 g/m ² , 水量100~150 ml/m ² 。
21) TOC-605 [NIP・ TOPE]	乳 剤	NIP: 2,4-ジクロ ルフェニル-4'-ニ トロフェニルエーテ ル 15% TOPE: メタトリル -4'-ニトロフェニ ルエーテル 15%	東京有機 化学工業 三 洋 貿 易	コウライシバ (一年生雑草 およびメヒ シバ)	東京農試, 大相 模C.C., 日本緑 営芝生研, 関西 グリーン研 (4)	実	・メヒシバに対し, 発生初期(2~3 葉期まで)全面土 壌兼茎葉処理。 1.5 ml/m ² , 水量 150~300 ml/m ²
22) trifluralin [トリフルラリン トレファノサイド]	乳 剤	α,α,α-トリフルオル -2,6-ジニトロ N,N-ジプロピル バラートリジン 44.5%	塩野義製薬	コウライシバ ベントグラス チュウシバ (一年生雑草)	程カ谷C.C., 大 相模C.C., 関西 グリーン研, 西 日本グリーン研 (4)	実・ 継	実: 一年生イネ科雑 草に対し, 発生前 全面土壌処理。 1.0 ml/m ² , 水量 300 ml/m ² 。 継: 広葉雑草に対す る効果確認。
23) TS-1 [MCPP・DS MA・SK- 41]	水和剤	MCPP: 2-(2'- メチル-4'-クロル フェノキシ)-プロ ピオン酸(カリウム 塩) 9% DSMA: メチルアル ソン酸ジナトリウム 塩 18% SK-41: 1-(α, α-ジメチルベンジ	昭和電工 トーメン	コウライシバ ティフトン 419 (ハマスゲ)	大相模C.C., 柏 G.C., 錦カ原C. C., 浜松シーサ イドG.C., 西日 本グリーン研 (5)	実・ 継	実: カヤツリグサ科 に対し, 生育盛期 茎葉処理。 1.4~2.8 g/m ² , 水量200~250 ml/m ² 継: 薬量(混合比) と薬害の関係を検 討。

薬 剤 名 { 種 類 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
23) (つづき)		ル)-3-メチル- 3-フェニル尿素 36%					
24) W. P [SAP ウィードグラス プレベーター]	粒 剤	N-(2-メルカプト エチル)ベンゼンス ルホンアミド-S-(0,0-ジイソプロピ ルホスホロジチオネ ート) 11%	O. M. S & S (ITT)	コウライシバ ヒメコウライ シバ (メヒシバ他 一年生雑草)	千葉農試, 程カ 谷C. C, 日本緑 営芝生研, 中津 川C. C, 相模原 G. C, 関西グリ ーン研, 西日本 グリーン研 (7)	実 ・ 継	実: SAP粒(ロン パー)に準ずる。 (ただし, 薬量 76~228g/ ㎡) 継: 効果の確認, 剤 型の検討。(含有 成分量をあきらか にしておくこと)

B 生育調節剤

薬 剤 名 { 種 類 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対 象 芝	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
1) SZ-741 [H-686] MH-24P A]	水和剤	H-686: 2-(N -イソプロピル-N -4-クロロフェニ ルカーボニル)-4 -クロロ-5-メチ ル-4-イソキサゾ リン-3-オン 12.5% MH: マレイン酸ヒド ラジッド 25.0% 2,4-PA: 2,4-ジ クロロフェノキシ酢 酸(Na) 12.5%	三 共		北海道農試 (1)	継	• 試験年次不足。
2) SST [生育抑制剤] サスター]	乳 剤	3'- (トリフルオロメ チルスルホンアミド) -P-アセトトリ グアイド 24%	日産化学工業		程カ谷C. C, 大 相模C. C, 西日 本グリーン研, 植調研 (4)	継	• 試験年次不足, 結 果不一致。 対象芝草の拡大, 使用場面の検討と それらの効果確認。

昭和49年度桑園関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和49年度の桑園関係委託試験は、除草剤 11 薬剤、生育調節剤 5 薬剤について行なわれ、試験成績検討会は昭和49年12月9日に東京

で開かれた。出席者数は60余名であった。

成績の概要は次のとおりである。

昭和49年度桑園関係除草剤・生育調節剤試験成績判定結果一覧表

1 除 草 剤

薬 剤 名 { 種 類 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対象雑草	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
1) DCBN 〔ニトリル系〕 プレフィックス 粒剤	粒 剤	2,6-ジクロロチオベン ザミド 6%	プレフィックス 普及会 〔シェール化学〕 石原産業	雑草全般	群馬, 埼玉, 長野, 岐阜, 熊本 各蚕試 (5)	実・ 継	実: 6~8 Kg, 桑発 芽前, 雑草発生前 土壌表面処理。 (使用は成木園に かぎる。桑根系の 浅い土地ではさけ る。) 継: 雑草生育初期の 効果, 蚕飼育成績 再検討を要する。
2) DPA・DCMU 〔脂肪酸系・ 尿素系〕 DPA・ DCMU剤	粒 剤	DPA: 2,2-ジクロ ロプロピオン酸ナト リウム 10% DCMU: 3-(3,4- ジクロロフェニル)- 1,1-ジメチル尿 素 3%	石原産業	雑草全般	埼玉, 長野各蚕 試 (2)	実	・3~5 Kg (夏期は なるべく使用量を 減ずることが望ま しい。砂質土壌で の使用はさけるこ と。) 桑発芽前, 雑草発生前土壌全 面処理。
3) EDPD 〔ジクワット〕 除草剤 レグロックス 液剤	液 剤	1,1'-エチレン-2,2'- ビス(4-ジクロロ フェニル) 30.0%	I. C. I.	一年生広葉 型雑草	山形, 栃木, 徳 島, 鹿児島各蚕 試, 京都農指 (5)	継	・試験年次不足。 試験結果不一致 (効果不安定)。 蚕飼育試験必要。

薬 劑 名 { 種 類 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対象雑草	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
4) G-315 〔オキサジソン ロンスター〕	水和剤	5-ターシャリーブチ ル-3-(2,4-ジ クロル-5-イソブ ロキシフェニル) -1,3,4-オキサジ アソン-2-オン 50%	日産化学工業		山梨, 岐阜各蚕 試 (2)	継	・蚕飼育試験再検討 を要する。 〔桑に対しては実 (昨年度)100 ~180%〕
5) M&B-9057 〔アシュラム アーザラン 液剤〕	液 剤	N'-メトキシカルボニ ルスルファニルアミ ドナトリウム 37%	塩野義製薬	多年生雑草	農林, 同関西支 場, 福島, 兵庫 各蚕試 (4)	継	・散布時期の検討, 雑草地下部の生否 調査を要する。 (桑に対し, 葉害 発現のため。)
6) MON-39 〔グリフォセート ラウンドアップ〕	液 剤	N-(フォスフォノメ チル)グリシン・イ ソプロピルアミン塩 41.5%	日本 モンサント	雑草全般	福島, 群馬, 山 梨, 徳島, 熊本 各蚕試, 京都農 指 (6)	実 継	実: 500~750ml (ただし, 桑葉に かからぬよう, 夏 切直後の使用はな るべくさける。) 桑発芽前, 雑草生 育初期茎葉処理。 継: 桑に対する葉害 特に散布時期との 関係の検討。
7) NP-24 〔ビラン系〕	水和剤	3-[1-(エトキシ アミノ)プロピリデ ン]-6-エチル- 3,4-ジハイドロ- 2H-ピラン-2,4 -ジオン 40%	日本曹達	一年生イネ 科雑草	農林, 福島, 山 梨, 愛媛, 熊本 各蚕試 (5)	継	・試験年次不足。 イネ科雑草につい ての効果に対する 草丈と葉量との関 係検討。 蚕飼育成績再検討 を要する。
8) NTN-80 〔有機リン系 トクノール M粒剤〕	粒 剤	O-メチル-O-(2 -ニトロ-P-トリ ル)N-イソプロピ ル-ホスホロアミド チオネート 5%	日本特殊 農薬製造	一年生雑草	栃木, 兵庫, 徳 島各蚕試 (3)	継	・試験年次, 例数不 足。 蚕の飼育試験必要。
9) R-1607 〔パーナレート パーナム粒剤〕	粒 剤	S-プロピル-NN- ジプロピルチオカー バメート 50%	パーナム普及会 〔トーメン, サンケイ化学 中外製薬, 八州化学〕	一年生雑草	山形, 茨城, 愛 媛, 鹿児島各蚕 試 (4)	実	・5Kg(多湿条件下 の使用をさける。) 桑発芽前, 雑草発 生前, 土壌混和処 理。

薬 剤 名 (種 類 名)	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	対象雑草	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
10) SD-1183 〔ニトラリン〕 〔ブラナビアン〕	微粒剤	4-(メチルスルフォ ニル)-2,6-ジニ トロ-N,N-ジプロ ピルアニリン 2.5%	ブラナビアン 普及会 〔シェル化学〕 北興化学 三 共 〔サンケイ化学〕	一年生雑草	農林関西支場, 茨城, 群馬, 岐 阜, 鹿児島各蚕 試 (5)	継	・除草効果試験, 蚕 飼育試験とも試験 結果不一致。
11) SKH-01 〔シアナジン〕 〔グラメックス〕	水和剤	2-(4-クロル-6 -エチルアミノ-S -トリアジン-2- イルアミノ)-2- メチル-プロピオニ トリル 5.0%	シェル化学 石原産業	一年生雑草	埼玉, 長野, 山 梨, 岐阜, 愛媛, 熊本各蚕試 (6)	実	・200~300g (特に桑葉にかか らぬよう注意を要 する。) 桑発芽前, 雑草発 生前土壌全面処理。

2 生育調節剤

薬 剤 名 (種 類 名)	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	処理目的	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
1) ACP- 68-250 〔植物成長調 整剤〕 〔エスレル10〕	液 剤	2-クロロ-エチル- ホスホニックアミド 1.0%	2,4-D 協議会 〔日産化学〕 〔石原産業〕	脱葉収穫	農林蚕試 (1)	実 ・ 継	実: 切枝に対して, 1500~3000 ppm. 継: 桑園内での(立 木に対する)使用 については例数不 足。
2) G-431 〔ルチエース〕	粉 剤	5-クロロインダゾ ール酢酸Na塩 0.025, 0.05, 0.1%	日 産 化 学	さし木発根 促進	農林, 福島, 兵 庫, 愛媛各蚕試 (4)	実 ・ 継	実: 各濃度(ただし 発根性の低い品種 に対してのみ, 低 温過湿条件を除く) 継: 苗圃については 試験例数不足。
3) ES-1 〔エチレンシブ〕	粒 剤	エチレングス 5%重量 (0℃で4ℓ)	光 興 業	脱葉収穫	農林, 群馬, 岐 阜各蚕試 (3)	継	・試験年次例数(濃 度, 桑品種間差異 未検討, 蚕の飼育) 不足。
4) MC-C 〔ミクロンC〕	液 剤	パラフィン, カルナウ バ相融ワックス (固型分)…4.0%	日 本 技 研	貯桑の萎凋 防止	農林中部支場, 同九州支場, 福 島, 岐阜各蚕試 (4)	継?	・効果不足, 蚕に対 する葉害発生。 (薬剤質の前年度 との相違を明確に すること。)

薬 種 商 名 { 類 品 名 }	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	処理目的	試 験 場 所	判定	判定理由または内容
5) D f - E 〔ダイナーE〕	液 剤	ステアリン酸トリメチルアンモニウム	日 本 技 研	貯桑の萎凋防止	農林中部支場、同九州支場、福島、岐阜各蚕試(4)	継?	・効果不足、蚕に対する薬害発生。 (薬剤質の前年度との相違を明確にすること。)

昭和49年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和49年度における茶園関係の除草剤試験は2薬剤、生育調節剤は5薬剤が供試され、それらの試験成績検討会が昭和50年2月22日
静岡県金谷町の農林省茶業試験場で開催され、関係者20余名が出席した。その結果の概要は次のとおりである。

昭和49年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績判定結果一覧表

1 除 草 剤

薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	委 託 者 名	試験場所名	判 定 結 果	理由・内容・その他
U-27267	粒	3,4,5-トリプロム-N,N- α -トリメチルピラゾール-1-アセトアミド 85%	日本 アップジョン(株)	農林茶試(札幌支場), 静岡茶試, 京都茶研, 熊本茶試 (4)	実 ・ 継	実: 成分量25.5~34.0g/a ただし、株元処理をさけること。 継: 土壌水分と抑草作用の実態、茶根におよぼす薬害を検討。
MCC (粒状スエップ)	粒	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト 15%	スエップ普及会	農林茶試, 三重農技(茶センター), 宮崎総農試(茶支場) (3)	実	・春処理 成分量60~75g/a ・夏処理 成分量 90~120g/a

2 生育調節剤

薬 剤 名	剤型	有効成分および含有率	委 託 者 名	試 験 場 所 名	処理目的	判定 結果	理由・内容・その他
G-4315 (ルチエース)	粉	5-クロロインダゾ ール酢酸 (Na 塩) 0.05 および 0.1 %	日産化学工業(株)	農林茶試, 埼玉 茶試, 宮崎総農 試(茶支場) (3)	さし木苗 発根促進	継?	・成分量を高めての 検討を要する。
G-PAA	水溶	天然有機高分子化合物 2 %	エーザイ(株)	農林茶試 (1)	さし木苗 生育促進 寒干害防 止	継	
DCIP (ネマモール)	粒	2,2-ジクロロジイソ プロピルエーテル 30 %	昭和電工(株)	農林茶試, 愛知 農総試(畑地実 験農場), 三重 農技(茶センタ ー), 奈良農試 (茶分場) (4)	さし木苗 発根促進	継	・試験成績不一致の ため, 試験方法を 変更して再検討を 要する。
アビオンE	液	パラフィン乳化剤 36 %	アビオン化学研 究所	埼玉茶試, 神奈 川園試(津久井 分場), 岐阜中 山間農試, 奈良 農試(茶分場) (4)	寒干害防 止	}	試験実施中, 調査未了に つき後日検討する。
ミクロンC	液	パラフィンワックス, カルナバワックス, 相 融ワックスの乳化分散 液 40 %	日本技研(株)	埼玉茶試, 静岡 茶試, 長野農試 (下伊那分場), 岐阜中山間農試 (4)	寒干害防 止		

昭和49年度林業関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

昭和49年度における林業関係委託試験には
除草剤3薬剤, 生育調節剤5薬剤が供試され,
その試験成績検討会が昭和50年1月17日に

東京において開かれた。出席者は約40名であ
った。成績の概要は次のとおりである。

昭和49年度林業関係除草剤・生育調節剤試験成績判定結果一覧表

1 除 草 剤

薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	委託者名	試験場所名	対象樹種	対象雑草木 適用地	判定 結果	理由・内容・その他
D P X - 1 1 0 8	液	アンモニウムエチルカ ーバモイルホスホネ ート 42.0%	デュボンファ ーイースト 日本支社(株)	農林林試(赤 沼), 鳥取林 試 (2)		＜雑かん木＞ 林地 (地こしらえ)	継	・試験年次不足(試 験未了)
N T N - 8 0	水 和	O-メチルーO-(2 -ニトロ-P-トリ ル)N-イソプロピ ールホスホロアミド チオネート 60%	日本特殊農 薬製造(株)	岩手林試, 静 岡林試, 鳥取 林試, 広島林 試, 三重林業 センター (5)	ス ギ ヒ ノ キ	〔キタ科を〕 〔除く1年〕 〔生雑草〕 〔苗床〕 〔まきつけ〕 〔床かえ〕	実 ・ 継	実: スギ, ヒノキの 苗畑(床かえ) 300~350g /10a。 継: 苗畑(まきつけ), ・薬害と土壌との関 係について検討。
S K - 2 3	水 和	1-($\alpha\alpha$ -ジメチル ベンジル)-3- (P-トリル)尿素 80%	昭和電工(株)	農林林試 (1)	ス ギ ヒ ノ キ アカマツ	＜ハマスゲ＞ 苗床 〔まきつけ〕 〔床かえ〕	継	・試験例数不足。

2 生育調節剤

薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	委託者名	試験場所名	対象樹種	使用場面 (作用)	判定 結果	理由・内容・その他
エバダント	乳濁液	オキシエチレンドコサ ノール 10%	三井物産(株) 東邦千葉化 学工業(株)	農林林試, 千 葉林試, 埼玉 林試, 徳島林 試, 栃木林業 センター (5)	シュラン ユマツ ス ギ	苗木移植時 (蒸散抑制)	実 ・ 継	実: スギ, 掘取後地 上部または全体を 浸漬。(0.5~10 %液) 継: 掘取前地上部散 布についても検討。
G - P A A	水 溶	天然有機高分子化合物 2%	エーザイ(株)	千葉林試, 埼 玉林試, 栃木 林業センター (3)	ス ギ	苗木移植時 (蒸散抑制)	実 ・ 継	実: スギ, 掘取後地 上部または全体を 浸漬(20~40 倍液), 成分公開 のこと。 継: 掘取前地上部散 布についても検討。
キノゲン	液	ヒノキチオール 2.0% シリコンオイル 5.0% ヒバ中性油 51.3% メチルアルコール 40.0% その他	(株)キノゲン	岩手林試, 福 島林試, 富山 林試 (3)	アカマツ クロマツ イタヤカエデ キ リ 他	立 木 (樹勢更新)	継	・試験年次不足。 (試験未了)

薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	委託者名	試験場所名	対象樹種	使用場面 (作 用)	判定 結果	理由・内容・その他
N-2000	塗布剤	9-ベンジルアデニン 1%	日研化学株式会社	農林林試(赤沼), 徳島林試 (2)		立木移植時 (発根促進)	継	・試験結果不一致
ミクロンC	液	パラフィン, カルナウ バワックス, 相融ワッ クス 約40%	日本技研株式会社	埼玉林試, 徳島林試, 栃木 林業センター (3)		苗木移植時 (蒸散抑制)	実・ 継	実: スギ, 掘取後地上部または全体を 浸漬。 (20~30倍液) 継: 掘取前地上部散布についても検討。

— 植調第9巻第1号の訂正について —

(下記のとおり訂正下さるようお願いいたします)

除草剤・生育調節剤等の土壌残留性 正誤表

本 文

頁	左 右	章	行	誤	正
2	左	1.	下3	評当	評価
14	右	(2)	12	り粘土の	り粘土粒子の

表

頁	No	見 出 し	誤	正
4	47-4 47-11 47-12 47-61 47-50 47-51 48-30 48-31 48-4	化学名	4-クロロ- <u>O</u> -トリル	4-クロロ- <u>o</u> -トリル
5	47-35 48-44 47-78	土 壌 化学名	茨 木 3-(<u>O</u> -トリルオキシ)	茨 城 3-(<u>o</u> -トリルオキシ)
7	48-48	備 考 1 行	脱アミノ・ジケトン	脱アミノ, ジケトン
8	47-37	化学名 分類名	)-3- <u>P</u> - フェニール	)-3- <u>p</u> - フェノール
9	47-82 47-37 47-13 48-39	化学名 化学名 化学名	- <u>O</u> -s e c-ブチルフェノ- N-(3-クロロ- <u>P</u> - -ジプロビル- <u>P</u> -	- <u>o</u> -s e c-ブチルフェノール N-(3-クロロ- <u>p</u> - -ジプロビル- <u>p</u> -
10	48-2	化学名	-ジプロビル- <u>P</u> -	-ジプロビル- <u>p</u> -

ワンタッチでOK ロンスターシステム!

* 容器のまま散布できる水田除草剤[®]

ロンスター[®] 乳剤

★ ロンスターシステムの三大特長★

- ① ワンタッチで簡単に散布できます
- ② 成苗はもちろん、稚苗移植の除草にも最適です
- ③ 田植前から安定した高い除草効果が持続します

—— ロンスター普及会 ——

日産化学・北興化学

事務局 日産化学工業(株)農業事業部内
東京都千代田区神田錦町3-7-1

原体製造元: ローヌ・プーラン[®]



表 (続)

頁	No	見出し	誤	正
10	48-38	化学名	<u>P</u> ートルイジン	<u>p</u> ートルイジン
	49-1	化学名	ニトロ <u>P</u> ートリル	ニトロ <u>p</u> ートリル
11	47-69	化学名	イソプロピル-N-3-	イソプロピルN-3-
12	48-26	化学名	エチル-N,N-ジプロピ	エチル N,N-ジプロピ
	49-13	化学名	m-トリル-N-メチル	m-トリル N-メチル

編集後記

野も山も新緑に色彩られ、大地が息を吹き始めた。長い冬の間、生活の糧を求めるのに苦難を重ねた山野の動物も、喜びに満ち溢れているに違いない。5月10日から愛鳥週間となっているが、鳥類の農業に対する害と益を比較するとき、その比重は益が大となっているに違いない。冬の間、糧にこと欠く小鳥類は、雑草の種子を食い、害虫のサナギを食べ、きびしい冬に耐え、生きのびている姿を思い起こすとき、人類との共存を否定することはできない。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和50年5月発行

植調第9巻第2号

¥250(送料50)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番



雑草を速やかに枯らす
武田の除草剤——！



武田グラモキソン[®]

水田の畦畔、刈取後、休耕田の除草、
そさい畑の播種前、植付前、生育期の畦間、収穫後の除草
果樹園、桑園、茶園の下草除草、
牧野、非農耕地などの除草

トレファノサイド[®] 乳剤

各種のそさい類、畑作物、花卉類、茶園、桑園、森林苗畑の除草

調和をめざすカヤクの農薬！

■桑園除草に

粒状 ゲザバックス

■水田除草剤

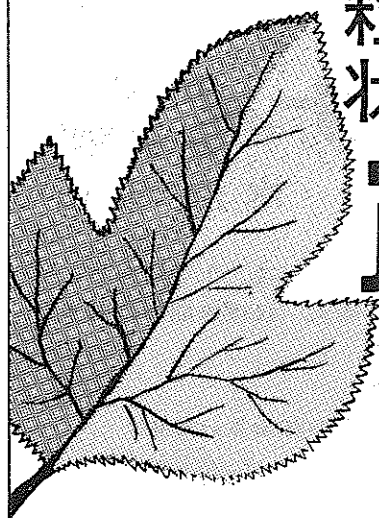
パウナックスM[®] 粒剤 3.5

- ノビエ2葉まで枯殺出来る。
- マツバイ・ウリカワに効果が高い。

■水田の雑草に

ゲザエム[®] 粒剤

- ノビエ・マツバイに特効。



日本化薬株式会社

〒100 東京都千代田区丸の内1-2-1



果樹園の下草除草に

優秀農薬として発明賞受賞の DCPA・NAC除草剤

ワイダック® 乳剤

- 雑草には極めて強力な除草効果を示します。
- 除草期間は理想的です。(30～50日間)
- 根からの薬害がありません。
- 柑橘の茎葉にかかっても薬害の心配はほとんどありません。
- りんごその他落葉果樹に使用の際は薬にかからないよう散布して下さい。
- 尚ご使用の際は指導員によくおきき下さい。

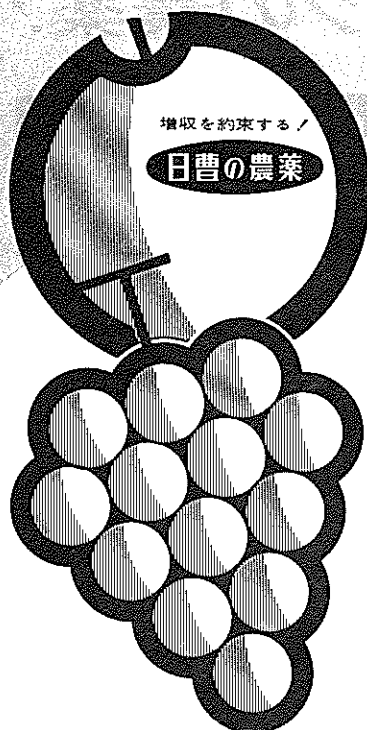
梅雨あけの夏期高温時に本剤2～3ℓを水150～300ℓに
稀釈して、加圧噴霧機で雑草によく付着するよう散布する。

《ワイダック普及会》

全国の農業協同組合で取扱っております。

クミアイ化学工業・大日本除虫菊
三笠化学工業・北興化学工業・長瀬産業
保土谷化学工業・(特別会員) 全農

事務局 保土谷化学工業株式会社
東京都港区芝罘平町2の1 TEL03(502)0171代表



増収を約束する /

日曹の農薬

高級果実を作る

植物成長調整剤

ビーナイン 水溶剤 80

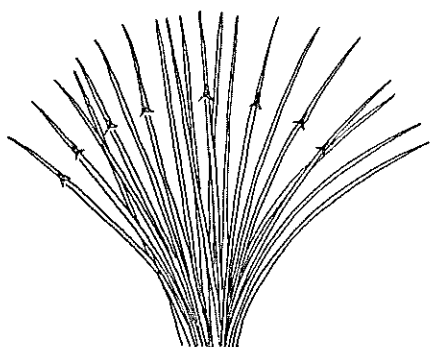
〈おもな効果〉

- りんご 赤色品種着色促進、生理落果防止、
貯蔵性の増大、収穫適期幅の増大
- もも 熟期促進
- おうとう 着色促進
- ぶどう 巨峰ぶどうの花ぶるい防止

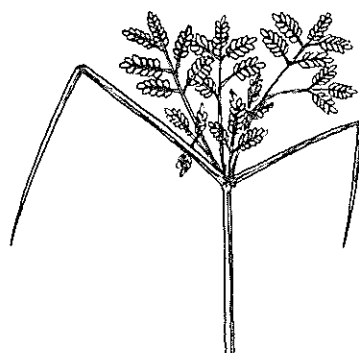


日本曹達株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-2-1 〒100
支店 大阪市東区北浜2-9-0 〒541



ホタルイ



ミズガヤツリ

ホタルイ、ミズガヤツリにも！

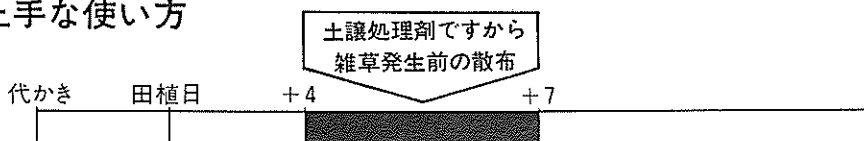
マーシェット粒剤

※米国モンサント社商標

■特 長

1. ノビエ、マツバイはもちろんのこと最近問題のホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、オオアブノメにも良く効きます。
2. 効力の持続期間が長い(普通40日間)ので、本剤の処理で十分な効果が期待できます。

■上手な使い方



マーシェット普及会

三 共(株) 日本農薬(株) 北興化学工業(株)

事務局

日本モンサント株式会社

〒100 東京都千代田区丸ノ内3-4-1 新国際ビル

資料請求券
④ 係

われら **サタンの仲間**



安心とユトリをつくる

水田の草とりはおまかせください。
安全で効きめが確かなサターン剤はいまいちばん多く使われている除草剤です。
米づくりに今年も“サターン作戦”でユトリをおつくりください。

サターンS 粒剤



申込みは皆様の農協へ

自然に学び自然を守る



クミアイ化学

東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル

サターンM[®] 粒剤

サターン 乳剤

サターン 粒剤

サターンバアロ 乳剤



期待に応えて新登場!!

多年生・一年生
雑草の同時防除に

ラメット[®] SMI 粒剤

- ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、オモダカ、ヘラオモダカなど、最近急激に問題化している多年生雑草をも防除できます。
- ノビエの3～4葉期処理でも卓効があります。散布適期幅が広いので、労力配分が容易で大変省力的です。
- 人畜、魚類にも安全です。



八洲化学工業株式会社

東京都中央区日本橋本町1-6(大和ビル)



三笠化学工業株式会社

福岡市中央区天神4-9-1